

# 温泉津町サザエ実態調査

由木雄一・勢村 均・山本能久

当海域でサザエの斃死現象がみられたので、その状況を明らかにするため昭和58年8月27日 温泉津町漁業協同組合立ち会いのもとに潜水調査を実施した。

## 1. 調査方法

- 採集および観察（3人×20分）
  - サザエ : 生貝および死貝の無作為採取
  - アワビ・トコブシ類 : 種類別計数と殻長の測定（潜水時）
  - 海藻類 : 無作為採集
- ワクどり（50×50cm, 2点）
- 測定・査定
  - サザエ : 全重量, 殻重量, 殻長（ただし死貝については殻長のみ）, 計数
  - 海藻類 : 種類別重量

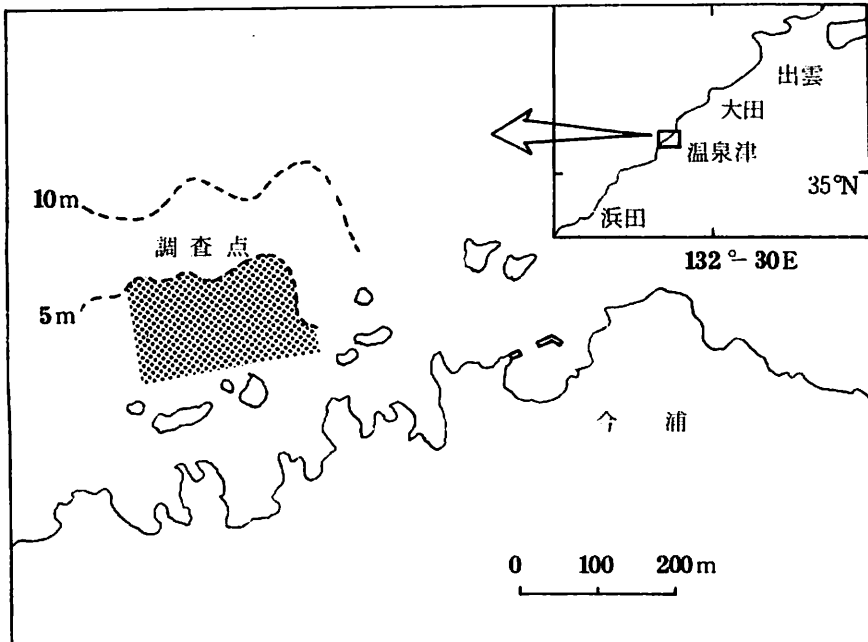


図1 調査海域

## 2. 結果と考察

### 1) サザエ

図1に示す調査海域で、のべ60分間で生貝48個、死貝（ヤドカリを含む）82個、計130個体を採取した（生貝37%,死貝63%）。

ただし、生貝で殻長 50 mm以下の小型の個体の採取は大型の個体に比べ困難であったことから考えると、ここでの死貝の割合は、ほぼ50%前後と推定される。図2にサザエの殻長組成を示す。また、殻長 70 mm以上の大型の個体の死貝は少なかったことから、斃死現象は殻長70 mm以下のものに多かったと思われる。

図3にサザエの全重量と殻重量の関係を示す（実線、黒丸：温泉津、破線：静岡県の

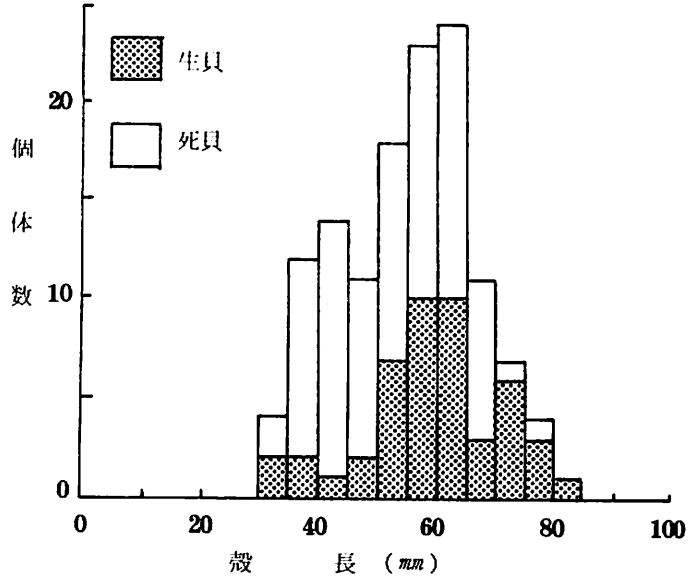


図2 サザエの殻長組成

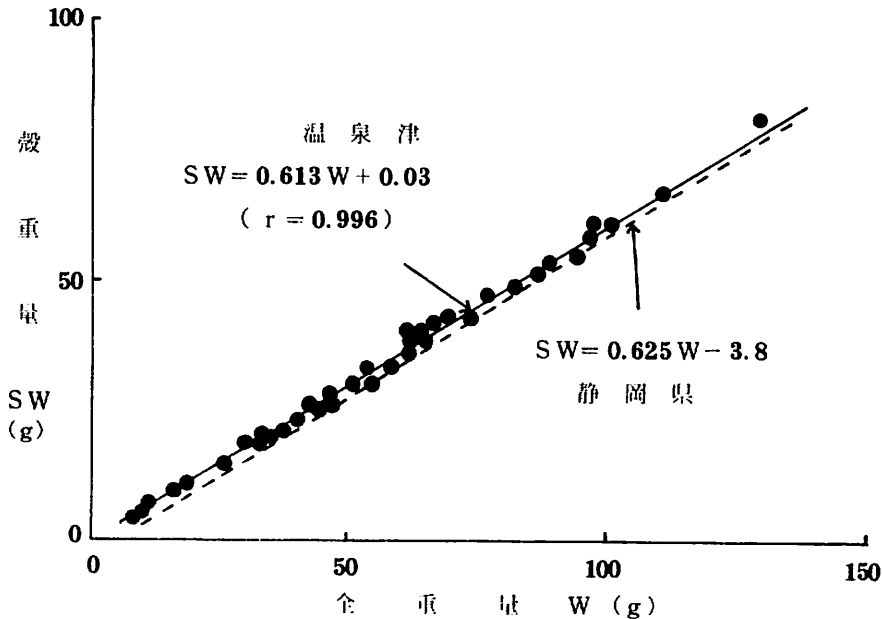


図3 サザエの全重量と殻重量の関係

例)。これによると、産地・時期のちがいはあるが、温泉津のサザエの肉重量は静岡県の場合とほぼ同程度と思われる。すなわち、温泉津のサザエの肥満度は、ほぼ平均的なものであろうと推察される（これは後述する、他の海域に比べ海藻類が比較的少ないという結果と相反することになるがこの時期かぎりの調査結果だけから判断はできかねる）。したがって、当海域のサザエの斃死現象は肥満度の減少をとまなわないものであったと想定される。

## 2) 海藻類

表1に採集されたすべての海藻類13種を示す。サザエの餌料源としてはアラメ、クロメ、モク類等が考えられる。このうち比較的量の多かったものはアラメとヤツマタモクであった。また、ワクどりの結果は海藻類の多い場所で2920 g/m<sup>2</sup>、少ない場所で580 g/m<sup>2</sup>となっており他の海域と比較してそう多い方ではなくやや少ないと思われる。

## 3) アワビ・トコブシ類

のべ60分間の観察でクロアワビ（殻長7～14cm）11個体、メガイ（6～9cm）3個体、トコブシ類（3～5cm）12個体が発見された（表2）。この値は県内の他の海域に比べやや少ないものである。しかし、サザエの分布量が多く、他の海域に比較してアワビ、トコブシ類よりサザエが卓越していると思われる。

表1 海 藻 類

※アラメ	スジノリ
クロメ	ツノマタ
※ヤツマタモク	シワヤハズ
オオバモク	エビアマモ
イソモク	テングサ
フシスジモク	サンゴモSP
ヘラヤハズ	

(※ 比較的量の多かったもの)

表2 アワビ、トコブシ類

種 名	殻長範囲cm	個体数
ク ロ ア ワ ビ	7～14	11
メ ガ イ	6～9	3
トコブシ、フクトコブシ	3～5	12